



一般社団法人
日本労働安全衛生コンサルタント会
Japan Association of Safety and Health Consultants

神奈川支部ニュース

2017 年 9 月 1 日
〒231-0026 横浜市中区寿町 1-4
かながわ労働プラザ 7F
Tel・Fax 045-633-3618
<http://www.conkana.org/>

日本労働安全衛生コンサルタント会は、
労働者の安全衛生水準の向上に寄与することを目的としています。

神奈川支部
発行責任者 森山 哲

平成 29 年度神奈川支部総会

6 月 2 日平成 29 年度支部総会が浅野副事業部長の司会で開催されました。森山支部長は「労働災害の死亡事故は減ってきているが、休業 4 日以上死傷者数は減ってきておらず、コンサルタントとして新しく取り組むべき課題があるのではないか。神奈川支部の事業も一時低迷の時期もあったが、ここ 2~3 年急激に回復してきており、事業所の方から難度の高いやり甲斐のある仕事を多くいただくようになった。それら業務を着実にこなし、期待もできるようになっている。今後も社会的使命達成のためにミッションを遂行していきたい」と挨拶がありました。



続いて、ご来賓の方々のご紹介の後、来賓を代表して神奈川労働局労働基準部安全課長原田聡様からご祝辞をいただきました。「労働災害の発生件数は長い目で見ると減少し、平成 11 年までは着実に減ってきました。しかし、その後は横ばいになっており、減少傾向がみられない。製造・建設業は 40%から 27%と減少しているのに対し、社会福祉施設等の第三次産業が増

加しているためである。労働災害タイプでは「転倒」がクローズアップされている。陸上貨物運送業における荷役作業の労働災害がもう一つの課題で、荷物の発荷主・着荷主等の団体で協議会を設けて災害防止へ取り組む動きが始まりました。これからは従来型の重篤なものだけでなく、多発傾向にある労働災害撲滅に向け、コンサルタント会の協力を是非お願いしたい」と大きな期待を寄せられました。

総会成立確認後、第一号議案から、第四号議案までの審議に入り、提案説明の後、質疑が行われ全議案とも満場一致で承認されました。

その後、午後 5 時 20 分より、吉久副事業部長の司会で、ご来賓の神奈川労働局労働基準部健康課長の広田光彦様のご挨拶、乾杯の後、情報交換会に入り、和気あいあいの中、秋谷副支部長の中締めで閉会となりました。

事業部全体会議を開催

平成 29 年 5 月 13 日 (土) 15:10~17 時、かながわ労働プラザにて神奈川支部事業部全体会議が 28 名出席して開催されました。

秋谷事業部長は挨拶の中で、

- ①労働局主催の安特・衛特説明会が 3 月 2 日に開かれ労働安全衛生の専門家としてプレゼンテーションを行った
- ②労働局、労働基準監督署で集団指導の予算がない場合は来年 3 月までの限定で無料で講師派遣を行いたい
- ③公募について当支部のホームページを見ての引き合いが増えている



④業務依頼には、事業部員の力量が求められているので、自己研鑽して能力向上を図り業務遂行に努力をしてほしい。

この後、平成 28 年度事業部の実績報告、決算書の説明、平成 29 年度事業計画（案）等について提案説明があり、質疑応答の後、満場一致ですべての議案が可決されました。

スリーエムジャパン工場見学（衛生）

平成 28 年 10 月 7 日参加者 7 名で、スリーエムジャパン（3M）株式会社カスタマーテクニカルセンター（CTC）を見学しました。CTCは3M社の 55,000 種類の製品とその技術が展示されているソリューションセンターとなっています。



まず担当者の方から会社の概況説明を受けた後、CTCの紹介をしていただきました。3Mが培ってきたベースとなる技術は「テクノロジープラットフォーム」と呼ばれ、46 個のコア技術を組み合わせることにより次々に新しい製品を生み出しています。例えば

- ①参入する業界の仕事を変える（塗装をフィルムにすることにより工程を大幅に短縮）
- ②顧客の仕事のやり方を変える（ビス止めから両面テープ止め）
- ③新たな事業機会を可能にする（無からメモ帳（ポストイット）をビジネス化）

このようなアイデアに富んだ製品ができる背景には技術者が労働時間の 15%を自分自身のアイデアの研究・開発に費やしてよいという「不文律」があり、予算はつかないが、研究設備や余っている機材は使ってよいというカルチャーがあるとのこと。

コーポレートディスプレイエリアでは以下のようなアイデア製品を実際に触れたり、デモを見たりしてその素晴らしさに驚きました。

- ①反射フィルムの光の透過率が 99%で、太陽光を室内に取り込んでも明るさがほとんど減衰しない
- ②壁に貼ったフィルムに皺ができないアイデア
- ③凸凹の壁でもスムーズに貼れるフィルム
- ④車のヘッドライトの光が当たると明るくなる道路標識
- ⑤一度貼った両面テープを簡単に剥がすアイデア等々、これは便利だと思っばかりの製品を見ることができました。

最後に労働安全衛生コンサルタント会の工場見学ということもあり、安全衛生製品について実物を手に取りながら説明をしていただきました。



写真 1 アーク溶接作業の時、マスクをしない場合
吸い込むヒューム量

防毒・防じんマスクの事例では、溶接工がマスクをしないで1年間作業した場合に吸い込むヒュームの量(写真1)等を見せていただきました。これらを見ることによりマスクをきちっと装着しないで作業することがいかに健康に有害であるかがわかる等、説得力のある安全指導ができる好事例でした。

横浜ゴムハマタイト工場見学(安全)

平成29年2月14日参加者13名で、横浜ゴム株式会社ハマタイト工場を見学しました。

ハマタイトとは、横浜ゴム(株)が製造・販売する接着剤、シーリング材、コーティング材の総称であり、当工場では建築用シーリング材、ウレタン塗膜防水材、各種工業用途向け接着剤、複合材、電材等の多くの製品が製造されています。

工場及び事業の概況説明を受けた後、2つの生産ラインを見学させていただきました。

最初の見学先であるSC-MS工程では、チャーンと呼ばれる大型の円筒形攪拌槽が、仕込み・攪拌、脱泡、充填工程へと順次移動される中で、建築用シーリング材が生産されていました。

当工程の見学後、SC職場に設置されていた安全活動板の前で、現場担当の方から安全衛生活動状況の説明を受けました。

・安全活動板

職場毎に、月度の安全活動計画、活動状況・結果の情報がぎっしりと掲示されており、活発に活動されている様子がうかがえる。

・安全マン活動

全作業者を12項目にわたる評価採点の上で「安全マン」、「気になる人」、「要注意マン」の3ランクに分類判定している。安全作業上の弱点が分析され育成対象者として上長から特別指導される。作業員一人一人の安全マン育成計画書が作られ丁寧にファイル保管されていた。

・公開作業観察

職場関係者、事業所の上位者も参加して、無理のない動作となっているか、危険な作業になっていないか等、それぞれの立場からアドバイス、サポートを出し

合い、設備の改善、作業方法の改善に繋げている。

・ヒヤリハット活動

一人当たり2件/月提出を継続。安全・通常・通勤のどの関連も対象で、想定ひやりでも良いとして、提出内容についての対策状況を管理している。

・リスクアセスメント

職場毎の実施計画に基づきリスクアセスメントを継続実施している。

そのほか重要視している安全衛生活動は以下のようなものがあります。

・職場の2S

・止まる・呼ぶ・待つ

・1対1活動

・KYトレーニング

一人一人に対する安全作業員育成や職場自主活動で、地道にリスク対策を進められており、安全衛生推進に熱心な職場と感じました。

次の見学先のOPSラインは自動車用ガラスに使用する1液性接着剤の製造ラインであり密閉、脱水条件下で原料を攪拌する装置から製品はドラム缶に充填されていました。

この生産ラインでも職場毎に、安全活動板が掲示されていました。きめ細かい自主的安全活動を感じたのは、自主作成の構内リスクマップ、構内凸凹図、通勤経路リスク図などが掲示されていたことです。

以下は、同じくきめ細かい対策例です。

・構内道路に直接面した鉄製ドア

小ガラス窓付扉は建屋側に開くが、可動範囲の床面に黄色ペンキで扇形に明解に表示しており、この部分に入らないでドアのノブに手を当てる。(入ってくる人のドア開で衝突しない対策)

一方、扉の道路側では黄色のパトライトが点灯して、道路を通行する車両等に注意を促す。

・建屋内で使用の防爆フォークリフト

職場の見える化活動での改善として、荷の移動に際してのフォーク揚げ角度、および荷の下側にフォーク先を入れる際のフォーク揚げ角度を、運転席上から確認可能とする手作りのスケールが付けられていました。

なお、職場には作業長ボードが掲げられており、各種の業務関係情報が掲示されています。このボードの前に全作業者が毎朝招集され、安全朝礼が開催されるとのことでした。

本工場における安全衛生についての感想ですが、管理監督者が作業員一人一人の安全作業上の課題を把握し、管理して安全マンを育成しようとしている点や、安全方針を守りながらも自主性を感じさせる各種の安全活動が、事業所の安全文化が各職場に根付いていると思われ、素晴らしい取り組み状況であると感心しました。

約2時間の見学会でしたが、今後の業務に向けても大変参考になる情報が多く勉強になりました。

萩野太郎さん本会会長賞受賞

事業部の前副事業部長の萩野太郎さんが日本労働安全衛生コンサルタント会会長賞を6月27日、本部総会の席で受賞されました。萩野さんは長年神奈川支部で活躍され、支部発展のためにご尽力されたことが評価されての表彰です。



功績賞を受賞された萩野さん

平成29年度研修計画

平成29年度の研修計画は下記の通りになりますので、多数の方のご参加をお願いします。

第1回（7月22日）

- ①衛生保護具の取り扱いについて
スリーエムジャパン 神成浩之様
- ②コンサルタントの倫理について
技術士 佐藤国仁様

第2回（9月2日）

- ①労災認定の実務について
元労働基準監督官 小菅将樹様
- ②コンサルタントとしての体験談
コンサルタント会静岡支部 奈木 勉様

第3回（10月7日）

- ①職場によるストレスチェックの取り組みと連携での課題
神奈川支部会員 三宅 仁様
- ②行政の側から労働安全衛生コンサルタントに期待すること
神奈川労働局主任専門官 高山博光様

第4回（11月11日）

- ①福島原発事故体験談（予定）
元福島原発ユニット長 吉澤厚文様
- ②職場環境改善と健康的な職場づくり
労働安全衛生総合研究所 甲田茂樹様

第5回（12月9日）

- ①転倒災害の防止について
労働安全衛生総合研究所 大西明宏様
- ②法律問題
弁護士 篠田貴和様

第6回（1月20日）

- ①労働安全衛生マネジメントシステムのISO化
神奈川支部会員 中村幸男様

- ② 未定

第7回（2月24日）

- ①接地、ボンディング、静電気による事故例
神奈川支部会員 森山 哲様
- ② 未定